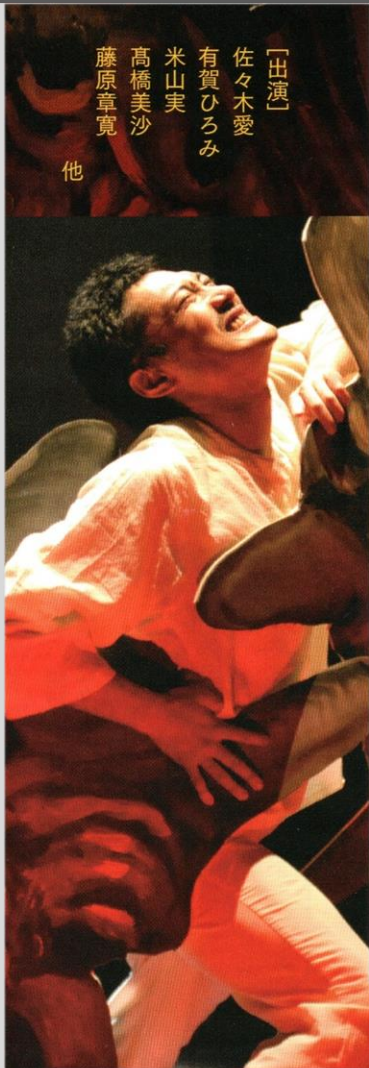




富士山演劇鑑賞会

No.267 富士山演劇鑑賞会 会報



【出演】  
佐々木愛  
有賀ひろみ  
米山美  
高橋美沙  
藤原章寛  
他

韓国の国民的画家、李仲燮（イ・ジュンソプ）  
その鮮烈な生、時代と国境を超えた愛と、家族の物語

# 旅立つ家族

劇団文化座公演

原作..金義卿 翻訳..李惠貞  
脚色..金守珍/佐々木愛 演出..金守珍



9月30日 (水) ・ 10月1日 (木)

開場 18:00

開演 18:30

開場 13:00

開演 13:30

◇ 他団体の例会日程 ◇

清水 9月18日 (金) 18:30

沼津 9月20日 (日) 13:30

静岡 9月16日 (水) 18:30

9月17日 (木) 13:00

他団体での観劇を希望される方は、事務局までご連絡ください。

文化座×金守珍 初コラボレーション!!

# 旅立つ家族

上演時間  
2時間45分  
休憩 15分

原作 金義卿

(キム・ウイギョン)

翻訳 李惠貞

(イ・ヘジョン)

脚色 金守珍/佐々木愛

演出 金守珍

照明 泉次雄



舞台美術 大塚聡

作曲/音響 大貫誉

振付 大川妙子

オブジェ 野村直子

韓国舞踊・所作指導

裴美香(ペ・ミヒャン)

殺陣 佐藤正行

舞台監督 鳴海宏明

制作 中山博実

## 文化座×金守珍

新宿梁山泊を主宰する金守珍を初めて文化座に迎え、韓国演劇界の第一人者・金義卿氏の代表作に挑んだ衝撃の話題作。芸術への思いを抱きながら、不遇のうち39歳の若さで没した李・仲燮(イ・ジュンソプ)〔1916～1956〕の半生。彼は死後、1970年から評価が高まっていき、韓国では今や国民的画家として愛されています。日本占領下の朝鮮半島に生まれ、第二次世界大戦、朝鮮戦争、南北分断という激動の時代を生きた李・仲燮は、日本で絵画を学び、日本女性と結ばれました。その激烈な生と芸術、生涯夢に描き続けた家族への愛をエネルギーに描いています。

原作/金義卿(キム・ウイギョン)

韓国演劇界の第一人者。文化座の「てくれっつのは」を韓国に紹介して、文化座にとって大変恩のある方。初代ベセト演劇祭の会長。日韓の演劇交流の先駆者で、現在もその流れの要にある。『旅立つ家族』は数ある戯曲の中選ばれた。芸術への熱い思いをいさきながら、不遇のうちに39歳の若さで没した李仲燮(イ・ジュンソプ)〔1916から956〕の半生が描かれる。

金守珍(キム・スチン)

1954年生まれ、大学卒業後、蜷川スタジオを経て状況劇場で役者として活躍。1987年に自身が代表として劇団新宿梁山泊を旗揚げし、演出を手掛ける。98年『飛竜伝』で読売演劇大賞演出家賞受賞。01年映画『夜を賭けて』で初監督、02年公開され第57回毎日映画コンクールスポニチグランプリ新人監督賞を受賞。現在韓国全州大学客員教授。

## STORY

日本による日韓併合の時代に朝鮮北部に生まれた李・仲燮(イ・ジョンソプ)は、朝鮮の大地を愛し幼い頃より絵に描いていた。1935年、支配国である日本に渡り、東京帝国美術学校、文化学院美術科で絵を学ぶ。在学中に山本方子と出会い魅かれ合うが、戦局も逼迫して一人、実家のある元山(ウォンサン)へと戻った。思いを断ち切れない方子は終戦間近の1945年、危険な玄界灘を一人渡り仲燮と再会する。

二人は結婚、山本方子は李南徳(イ・ナムドク)として生まれ変わり二人の子供を授かる。やがて第二次世界大戦は終結するも朝鮮半島は混乱が続き、朝鮮戦争が勃発。身の危険を感じた仲燮は、芸術と家族を守るため、一人残るという母に絵を託して元山から脱出する。一家は釜山から済州島にたどり着くが、南徳と子供たちは健康状態が悪化、仲燮を残して日本に帰ることになった……。



高橋美沙  
たかはし みさ

〔山本方子(仲燮の妻)  
※後に李南徳〕



藤原章寛  
ふじわら あきひろ

〔李仲燮〕



佐々木愛  
ささき あい

〔現在の山本方子〕



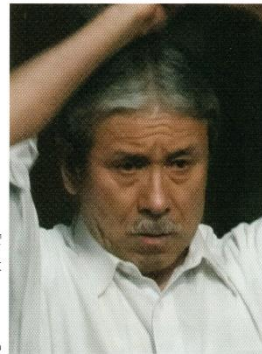
米山実  
よねやま むのる

〔具常(詩人)〕



高村尚枝  
たかむら ひさえ

〔山本夫人(方子の母)〕



阿部勉  
あべ つとむ

〔山本(方子の父)〕



有賀ひろみ  
あるが ひろみ

## 李・仲燮 関連年表

- 1914年 第一次世界大戦勃発
- 1916年 植民地時代の勧告、平安南道で富農の息子として生まれる。
- 1919年 三・一独立運動
- 1923年 関東大震災、朝鮮人の虐殺が起きる
- 1929年 五山高等普通学校に入学14歳
- 1931年 同学校で図画教師の任用璉に出会い、画家としての夢を持つ
- 1935年 日本へ渡り、帝国美術学校西洋画科に入学
- 1936年 帝国美術学校閉鎖のため、文化学院美術科に入学
- 1937年 日中戦争始まる
- 1938年 第2回自由美術家協会展で協会賞を受賞
- 1939年 文化学院美術科に入学した山本方子と出会う
- 1939年 第2次世界大戦勃発
- 1941年 太平洋戦争勃発
- 1943年 第7回自由美術家協会展に出品、太陽賞を受賞。ソウルでの展覧会に出品するため、朝鮮に帰国。
- 1945年 5月、一人で朝鮮に渡ってきた山本方子と元山で結婚、李南徳と名付ける。
- 1945年 終戦。ソ連とアメリカにより朝鮮半島の分割統治が始まる。
- 1948年 仲燮と方子に息子の泰賢が生まれる。
- 1948年 大韓民国、朝鮮民主主義人民共和国がそれぞれ建国を宣言。
- 1949年 二人の間に次男の泰成が生まれる。
- 1950年 朝鮮戦争勃発
- 戦乱を避け、家族で釜山へ避難。難民収容所で暮らす。
- 1952年 結核に冒された方子、栄養失調になった二人の子供を連れて日本に帰国。
- 1953年 船員の資格を得て日本に渡り家族と再会、一週間の滞在。
- 1953年 朝鮮戦争休戦、軍事境界線が敷かれる。
- 1955年 ソウルのミドパ画廊で個展を開く。ニューヨーク近代美術館(MoMA)に銀紙画3点が収蔵される。
- 1956年 9月6日、西大門赤十字病院にて栄養失調と肝炎で逝去、39歳。

## 『煙が目にしみる』感想

● やっぱり生のお芝居っていいと思いましたが。加藤さん流石です。おばあちゃん最高!!火葬場という舞台で笑いが起こる!!テンポもよかったです。あの歌のように、今をいつか振り返る日まで、この文化を守っていきましよう。

● 笑ったり、泣いたりしながら人生の素晴らしさをしみみ感じさせられました。最後の歌も感動しました。コロナに負けずみんなでこの時期を乗り越えましよう。

● とてもよくできたお芝居でした。みんな上手でよかったです。最後の野球部監督の笑顔がとても自然で素晴らしいです。

● 21年前に亡くなった主人もあんな風と言ってくれているといいな。泣き笑いのラストシーンでした。

● たくさん笑わせてもらいました。たくさん泣かせてもらいました。素晴らしい舞台をありがとうございました。鑑賞会の会員でよかったですと強く思います。幸せな時に感謝です。

● 今日のお芝居は強く心に響きました。亡くなる方が増えていて、心が重くなる毎日だったので、今日の舞台から勇気をいただきました。ありがとうございました。劇団の皆様もお体に気を付けて頑張ってください。

● 久しぶりの演劇、再入会です。いや〜面白かった。やっぱり生のお芝居はワクワクしていいですね。

● 展開がわからなかっただけに、いい幕切れでした。加藤さんの気持ちがよく伝わってきました。「時代」もありがとうございました。

● ホロリとさせられたり、思わず笑ってしまった。桂おばあさんのとぼけた、でも純な心を通してお互いの家族の幸せな旅立ちができてよかったです。桂おばあちゃんが、ちよつと意地悪ばあさんにみえました。とぼけた中に真実を突き止める姿に・・・。

● 久しぶりの生の舞台でした。役者さんたちの、お芝居をするのが楽しいと感じているエネルギーが伝わってくるようでした。生の舞台はやっぱり良いですね。おまけに歌っていただいた「時代」とても素敵でした。またゆつくりと舞台がみられる時が来ると信じています。

● 本当に楽しい舞台でした。斎場の待合室という半公共的な空間で、野々村家と北見家の歴史や葛藤がリアルに暴かれて、故人となった二人の生きざまも生き生きと浮かび上がってきました。カトケン演じるおばあちゃんは死者の言葉をしゃべり、また両家の人々をつなぐ巫女そのものでした。最後に出演者全員が熱唱した「時代」からは、皆さんの万感の思いが伝わってきました。ありがとうございました。また、富士に来てください。

● もしも斎場で亡き主人が見えたら？嬉しい？怖い？知人なら嬉しいかも、なごと思いつながら見ているうちにカトケンワールドにぐいぐい引きずり込まれてしまいました。窓越しに満開の桜、いかにも斎場らしい造り、待ち会いロビー。白装束で旅立ち姿を決めたのにまだまだ「生」たらたらの中年男二人。幽霊だから誰にも見えないはずなのに、おばあちゃんには見えてしまう。カトケンさんのおばあちゃんつていかなものかの壁を乗り越えてキュートに可愛らしく演じられました。煙も13人目の登場人物でした。

● 久しぶりの生の舞台に感動し、いろいろなことを考えさせられました。心に沁みました。「時代」口ずさみました。涙が流れました。早くコロナが終息し、平和な世界が広がるように願っております。

● 死から今の生を考え直すきっかけになりました。お芝居の灯を消さぬよう、心が豊かになる灯を消さぬよう頑張ってください。素晴らしいお芝居、ありがとうございました。

● 「生きる」「死ぬ」という最大の命題を笑いのタッチで描く素晴らしい作品ですね。感動しました。名演技に拍手!!

● 楽しく感激させていただきました。演劇の奥深い良さ、スクリーンでは味わえない生の役者さんたちの表情に、目が離せませんでした。この大変な時期に、富士までお越し下さりありがとうございました。素晴らしいお芝居に、心から拍手と感謝です。

● 最近知人の葬儀が続いたのですが、こ

のように捉えられるのも芝居ならではのなと思えました。コロナで3月の公演も見られなかったので久しぶりに見てよかったです。本物に触れる機会が減っている今だからこそよかったです。この後の公演も皆さん元気に続けていってください。たくさん泣きました。いいお芝居ありがとうございました。

● 素晴らしいかったです。人生最後の豊かさ。涙が止まりませんでした。久しぶりに佳作と出会うことができました。心の震えるこの感動が観劇の醍醐味ですね。加藤さん、またお目にかかれる日を楽しみにしています。

● 大変良かったです。会場と出演者一体となり盛り上がりました。笑って、笑って泣かせてもらいました。

## 運営担当の感想

● 会報に「笑いと涙のハートフルコメディ」とありましたがその通りでした。思わず笑ってしまった。胸が熱くなつて涙があふれてきたり。人はそれぞれ、その人生の中で様々な人と出会います。そして、それぞれの関わりの中で、いろいろな思いでつながっていくのだと思います。一人一人の存在と色々な人を大切にしたいと思えました。カーテンコールの時に劇団の皆さんが歌ってくれた『時代』を聞き、口ずさみながら涙が止まりませんでした。「あんな時代もあったね」とか笑って話せるように、今は前を向いて生きていきます。(おとめ)

この作品は以前観ていたのでストーリーはすっかり頭の中に入っていました。当日は、加藤健一さんのおばあさん姿を楽しみに出掛けました。会報にあったように、今時の公共の場で煙草を吸っている場面ではちよつと違和感を覚えました。そういう時代だったんだなと懐かしく感じました。縁もゆかりもない家族が心を通じ合わせる様は、心があたたくなる程ステキでしたし、亡くなった夫に対して、声を限りに思いを叫ぶシーンは、ジーンとききました。

カーテンコールでの「時代」によるエンディングと一緒に歌いたかったなあ。皆さん楽しそうに歌っていて元気をいただきました。ありがとうございました。(ルンルン)

『煙が目にしみる』は東京で観たことがあるのですが、その時の楽しかった事が思い出されて、ずーっと楽しみにしていました。市民劇場に入ったのはいつか加藤さんの劇団がくるかもと思っただけなのですが。富士で観て改めて楽しい!!と思いました。帰宅時にあまりに楽しくて車の中で大きな声で歌ってしまいました。たくさん楽しさと元気をいただきました。また、いつかお会いできる日を楽しみにしています。(富士子)

毎日私達を不安にさせているこのコロナの渦、自分も高齢だし今回の鑑賞会も大丈夫かしらと不安もありましたが、開演前に加藤健一さんがロビーで会員の方々に、劇団も二週間ほど生活を共にし健康状態には十分注意し今何もあ

りませんというお話をして下さり安心しました。今回の「煙が目にしみる」では短時間の芝居の中に世代の違う人々の人間模様、生き様、思い、それぞれの中で加藤さん演じるおばあさんの気転と知恵で人間関係も好転し、齋場という暗いイメージになりがちな場所設定であるにもかかわらず、笑いもこぼれ、気が付けばコロナのことも一時忘れ、自分の先のこともフツと感じつつ楽しく鑑賞できました。東京でのコロナ感染者の増加は、静岡以上ですが、コロナ終息を願うとともにまた、楽しい芝居を見せてほしいです。(ユミの会)

笑えました。泣きました。カトケンの桂ばあさんはじめ、役者一人一人が粒が立って、1時間半の短い芝居ながら重層感のある仕上がりでした。さすがプロの役者さんたちです。良かった。背景に見事な桜、芝居の初めから終わりまではらはらと散っていました。仏の北見氏「三途の川にもこんな桜並木があるといいなあ!」と。桜の花も今生の別れです。胸にしみました。「花咲く(さく)は、花咲う(わらう)」とも言います。ひてや、おぎやーと泣いて生まれ、周りは「生まれたー」と笑う。だから死んでいく時は笑うんだよ、そして周りが泣くんだよと。芝居のクライマックス、シャッター音と同時に浮かび上がった仏二人の顔、満面の笑顔、最高でした。(ポニーテール)

### 運営サークル活動に参加して

昼例会ができたことで、確かに誘い易くなったと思う。昼例会で声をかけようと思っていた人もいたが、今回の『煙が目にしみる』は富士で観ることができない日程だったので自分が観られないので、お誘いには失敗してしまっただけです。次回にはぜひ一緒に観ようと誘ってみようと思う。しかし、直前に開催された総会で昼・夜の2ステージがこのままだと困難という話を聞き、どうしたものかと思案した。サークル代表者だけの問題ではなく、全員の課題として取り組む。そのためには代表者からサークルの中へ問題提起していく。自分ができることから実行していこうと思

う。(ルンルン)  
今回、私たちはパンフレットの販売をしました。コロナの関係や、天候不安定やらで、お芝居が始まる前は、4、5冊しか売れずこんなで大丈夫かな?と心配していました。しかし、カーテンコールでの加藤さんの挨拶のおかげで終演後は飛ぶように売れほつとしました。開演前の運営担当の打ち合わせにも、加藤健一さんが挨拶にこられ、「劇団員毎日のメンバーで動いていて、静岡に入って、二週間経ったのでどうぞご心配なく」と話してくださいました。齋場という暗い悲しいイメージですが、大事な人と最後に話ができるなんて、何かほつこりました。全員で歌ってくださった「時代」これにまた泣かされてしまいました。ありがとうございました。(あじさい)

運営サークル会に出席させていただくたびに、加藤健一さん直筆の手紙を読ませていただきました。本当にお忙しい方なのに、良い芝居を多くの人に観てもらいたいという思いが伝わってきました。当日も、開場前の打ち合わせや、搬出の時も挨拶に來られ、演劇鑑賞会を大切に思っていることを感じました。今回私のサークルでは仲間を増やすことはできませんでしたが、感動した思いを周りに伝えていきたいと思っています。(おとめ)

運営担当になった時ファンであるカトケンの舞台への期待感と会員を誘いクリアするというプレッシャーで時に足取り重く運営サークル会へ出席しました。でも、幸いなことにサークルメンバーの友人が今回入会してくれました。よかったです。今まで自分を中心とした範囲内で誘っていました、それは無理がありそう。複数の人たちの複数回の声掛け、それが大事かも。勿論、代表者は頑張らなくてはいけないのですが、もっと周りの人の手を借りなければと思いました。(富士子)

パンフレットの販売を担当しました。他団体からの情報を得て、前もって釣銭用の450円袋と500円袋を十分準備したので、3密も混乱もなく販売できました。ほんの少しでコロナ禍の劇団の窮状の足しになればと思いました。私たちが地元でプロの演劇を楽しめるのも、頑張っている劇団員がいるからです。お互いに支えあってコロナを乗り越えて「あんな時代もあったね」と笑い合いたいです。(ポニーテール)

# 『煙が目にしみる』 運営サークル活動のまとめ

## 『煙が目にしみる』

### 運営サークル活動のまとめ

加藤健一事務所の『煙が目にしみる』、待つてました！

毎回心から笑わせてくれる喜劇に期待が高まります。

富士宮と富士が合同して初めての担当サークル会、幕を開けてみればサークル会全て100%の参加率でした。仕事を終えて食事もそこそこ駆けつける、用事ができたので短時間だがと富士宮から参加する等、熱意と和気あいあいのサークル会でした。この会はみんなのもの、だから運営もみんなと、運営リーダーを選出し、司会、記録等交代でリーダーが担いました。

**第一回目** 「ともに運営する仲間を知ろう」とサークル名の由来など、自己紹介しました。意外な命名話や、入会のきっかけ、観劇歴も披露され楽しく交流できました。そして、鑑賞会が目指すもの、作品について語り合いました。

「笑いと涙のハートフルコメディ」みんなで目標をもって声掛けをしていこうと心を合わせました。

**第二回目** 手書きの加藤さんからの手紙を読み合わせました。加藤さんの運営サークルへのご挨拶はいつもながら、心がこもっていて力が湧きます。コロナ対策に万全を期しての稽古、上演時の配慮など、上演への並々ならぬ熱が伝わってきました。絶妙なカトケンの芝居を一人でも多くのに味わってもらいたいと願いました。その後目標を出し合い、シール作業を行いました。

**第三回目** 活動状況を報告した後、当日の差表時のコロナ対策、注意事項を確認しました。その後当日の例会役割運端を決め、人物相関図を作製しました。

**第四回目** 入会1名の報告。声掛けをすると、以前にも他の方から誘いを受けていたので、入会の決心をされたとのことでした。複数の方から何回かのお誘いが入会につながるのだから断られても意味があると確信しました。入会しにくさに足

(車)の不便さがあるが、タクシーを乗り合わせて観劇しているという工夫も披露されました。再度声掛けできるころをみんなで確認しました。



**まとめの会** 笑いあり、涙ありの感動を語り合いました。ほぼ主役たちと同世代、葬儀にかかわるテーマは身近でした。軽妙な流れの中でのしみじみと考えさせられたとのことでした。花束贈呈に替えての「時代」の歌は、まさに「コロナ禍の今を映し出してくれました。私たちが手拍子で応え開場が一つになりました。役者と観客のその瞬間の一体感、生の舞台はこれだからたまりません。劇団の皆さんに感謝です。

**まとめ** この時期に入会者がいるの？と加藤さんが驚いていました。退会者34名、入会11名。今回ロゼシアターからの入場者半数制限を受けていましたが、昼・夜2公演が幸いし、会場い

っぱいで利用し、参加率は75%でした。東京に行くことが困難になった今、逆手にとって地元で演劇文化を守っていききたいと切に願います。皆さん力を合わせて乗り切っていきましょう。今回から富士宮と一緒に、新生富士山演劇鑑賞会として、夜・昼の2ステージの実施となる記念すべき例会です。

いつもの通り5回の運営サークル会を持ち活動していく計画を立てましたが、予期せぬコロナウイルス騒動で4回のみにとどまりました。

富士宮方からの入会が120名余と、予測を下回りましたが、例会会ができるという期待感からはやくから心づもりをしていたサークルから続々と入会があり、運営担当サークル活動は好スタートを切りました。

「これならばまだまだ会員数を伸ばせる」と思っていた矢先のコロナウイルス。そこからプツリと、入会が途絶えてしまい、活動の停止を余儀なくされてしまいました。

その後、コロナの影響が日々深刻さを増し、例会の開催が危ぶまれましたが、静岡県内の鑑賞団体、劇団と心を合わせ、運営担当サークルとの連絡も密にして、万全の準備のもと、当日を迎えました。例会参加率も75.1%と県内では高い方で、無事千秋楽を終えることができました。

「コロナに振り回され苦労した例会でしたが、生の舞台を観られるありがたさ、素晴らしさを痛感する貴重な体験となりました。

会員数	549
入会	11名
サークル数	87
担当サークル	1C 1名
クリア比率	8.3%
参加率	74.7%



運営担当サークル	ポニーテール	エミの会	あじさい2	富士子	24COSMOS	ブレンド
気楽生会	HAMA	サクラ	KO	ストロベリー	ルン・ルン	おとめざ

運営担当サークルの皆さんお疲れさまでした

# 次例会のおしらせ

No.268 例会 2021年 2月 1日(月) 開演18:30

ロゼシアター中ホール 2月 2日(火) 開演 13:30

前進座公演

## 文七元結

原作/三遊亭 圓朝

演出進行/小野文隆

出演/藤川矢之輔、河原崎國太郎 他

落語でおなじみの三遊亭圓朝の人情噺を芝居にした、笑いと涙にあふれた傑作。前進座では1958年の初演以来800回を超えて上演された人気演目

左官屋の長兵衛は腕はいいが、博徒と酒にかまけて家業はほったらかし。女房お兼との間に喧嘩は絶えない。

見かねた、娘お久は、自ら吉原に身売りをするが、女主人お駒の取り計らいで身代金として50両を借りる。その帰り道、橋から身を投げようとする若い男に遭遇。聞けば集金したお店の金をすられたと。哀れに思った長兵衛は男に50両を渡してしまい……。



— 「センポ・スギハラ」のご案内 —

今年度の総会で外すことを決定しました。

「センポ・スギハラ」を観劇したい方は2,500円で他団体で見られます。

静岡 12月2日(水) 18:30

12月3日(木) 13:00

三島 12月8日(火) 13:30 事務局へ申し出て下さい

— 重要なお知らせ —

- ・会費納入 11月会費 10月28日(火)～11月5日(水)  
12月会費 11月25日(水)～12月4日(金)
- ・退会締切 10月 9日(金)
- 『文七元結』 12月14日(火)～22日(火)

- ★ 例会翌日は、事務局は休みです。
- ★ 毎月の会費納入は、基本的には 月末の25日～月初め5日 です。  
※例会等の関係で変更になることがあります。
- ★ 例会運営サークルの集いの日程は、担当のサークルリーダーにお知らせします。

- ★ 退会する場合は、退会締切り日までに手帳裏表紙の退会届に必要事項を記入の上、事務局へ提出して下さい。  
※電話やFAX、郵送での退会受付はできません。  
※入会1年未満の方と退会締切り日後の退会は認められません。ご了承ください。

【事務局からのお願い】

不要になったハガキや切手がございましたら、例会会場、または、事務所にお持ちいただけると大変助かります。それぞれ未使用であればどんなに古いものでも結構です。

富士山演劇鑑賞会

富士市元町 12-26 田中ビル 101号

TEL 0545-63-9201 FAX 0545-62-1687

Eメール fj\_simingekijou@ab.thn.ne.jp

http://web.thn.jp/ fj\_simingekijou/

ホームページ [ 富士山演劇鑑賞会 ] で

観劇のマナーを守って  
楽しく「かんげき」しましょう

- ・携帯電話の電源は切りましょう
- ・開幕前は静かに待ちましょう
- ・お話は上演終了後にゆっくりと
- ・客席での飲食はできません